

1. 新型コロナウイルス感染症の影響克服に向けた取組

- ① 感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者からの相談対応を行うため、「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置し、資金繰りや雇用維持などを中心とする2,939件の相談対応や各種補助金申請支援を実施した。
- ② 事業所の雇用維持を支援するため、愛知労働局と連携し、社会保険労務士による「労務相談会」を開設するほか、雇用調整助成金の活用に関するWEBセミナーを3回開催し、延べ174名が受講した。
- ③ 休業や時短要請などの影響を受けている飲食店を応援するためのWEBサイト「食べて応援プロジェクト掲示板」を開設し、テイクアウトやデリバリーなどに取り組む243事業所の登録を受け付け、広く情報発信を行った。
- ④ 感染症対策に取り組む飲食店を支援するため、独自のPRステッカー及びポスターを無償提供する「安全安心おもてなし宣言飲食店」認定制度を設け、239件の認定を行い、感染拡大防止対策の啓発・強化を図るとともに、感染防止対策に配慮した店舗であることを消費者に対し周知した。
- ⑤ 持続化給付金及び家賃支援給付金の電子申請を行うことが困難な方のために開設された申請サポート会場の設置に協力した。
- ⑥ 感染症拡大による影響を把握するため、昨年3月に続き、全会員を対象とした2回目の緊急アンケートを9月に実施し、972社（19.0%）から回答が寄せられ、調査結果を報道発表するとともに要望活動等に活用した。
- ⑦ 東三河広域経済連合会として、東三河地域の官民が経済再生プランを検討・実行する必要性を提案書にまとめ、東三河県庁と東三河広域連合へ提出した。この活動を契機に、3密を伴わないマイクロ・ツーリズムの展開として「地域限定観光キャンペーン#東三河おでかけエール」事業を2期にわたり実施した。



相談カウンターへ
飛沫防止フィルムを設置



持続化給付金
申請サポート会場

2. 政策・制度に関する提言・要望活動

- ① 日本商工会議所や愛知県商工会議所連合会などの諸会議に出席し要望のとりまとめや広域的な意見の具申等を行った。
- ② 東三河広域経済連合会においてコロナ禍からの経済再生や産業分野の広域的な諸課題について協議するとともに、関係自治体などと一体となり設楽ダム建設事業促進に関する要望活動を行った。
- ③ 部会を通じ業種業界の意見を集約し、感染症の影響への対応、中小企業施策、商工業関連施策、社会基盤整備等に関する政策提言・予算確保要望を豊橋市長に対して行ったほか、関係行政との連絡会議を開催し、行政機関への要望や事業活動協力のための意見交換を行った。



東三河広域経済連合会
WEB 定時総会 (R2/4/24)



豊橋市への要望
(R3/1/5)

3. 会員サービス事業の充実と組織・財政・運営基盤の強化

(1) 組織強化と財政基盤の確立

- ① 年度末現在の総会員数は、5,298（会員5,115、会員でない特定商工業者183）で、組織率37.3%となった。
- ② 会員企業の福祉向上のため、各種共済制度の充実・推進を図った。生命共済については、令和3年6月の新制度移行に向けて幹事保険会社変更などの制度規約改訂を行った。
- ③ 生命共済契約者の満足度向上を図るため、11月に「定期健康診断の割引受診」を加入事業所の従業員・家族を対象に実施した。
- ④ 企業の賠償責任リスク、事業休業、財産・工事に関わる保障を総合的にサポートするビジネス総合保険や労災対応型商品として業務災害補償プランをはじめとした集団扱い損害保険制度の加入促進を図った。
- ⑤ 労働保険事務組合への加入促進に努め、加入者は311事業所となった。

(2) 会員サービス事業の実施

- ① 会員企業における職場の健康管理を促進するため、豊橋市医師会と連携して「健康診断」事業を実施し、191名が受診した。また、地元医療機関と提携し「PET-CT 検診」事業を実施し、18名が受診した。
- ② 販路拡大支援事業として、会報誌へのチラシ同封事業を実施し、年間110件の利用があった。

(3) 広報活動・調査事業の実施

- ① 広報誌「ニューボイス」やメールマガジン、HPにより、会員や諸機関に当所事業を紹介するほか、経営支援制度など有益な情報の提供に努めた。
- ② 広く商工会議所の諸活動をPRするため、定例記者会見等を5回開催したほか、会員企業等の情報発信支援のため174件のプレスリリースを行った。
- ③ LOBO 調査、中小企業景況調査、景気動向調査、大型店販売動向調査等の調査を行い、地域経済の現況把握と情報提供を行った。

4. 中小企業に対する支援の充実

(1) “伴走型支援”による相談対応

- ① 高度で専門的な経営相談に対し実践的な課題解決を図るため「豊橋ビジネスサポートセンター」を通じ、㈱サイエンス・クリエイト、豊橋信用金庫、その他関係機関と連携を図り、各種経営相談に対応した。
- ② 弁護士や税理士、弁理士、社会保険労務士などの専門家による定例専門相

談を延べ55回開催し、53名が利用した。また、実践的に経営課題の解決を図るため、事業所へ96件の専門家派遣を行った。

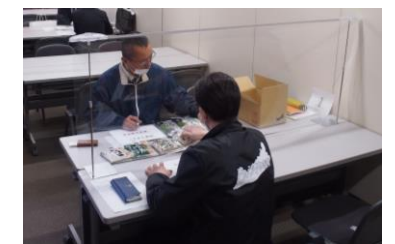
- ③ 経営全般を総合診断する「企業ドック」等を通じて、60件の経営課題等への相談に対応した。
- ④ 感染症関連施策を含む国の中小・小規模事業者向けの各種補助金の活用・申請に関する相談に対応し、小規模事業者持続化補助金を中心とする445件の申請支援を行った。
- ⑤ 国の認定を受けた経営発達支援計画に基づき、伴走型小規模事業者支援事業費補助金を活用し、小規模事業者の成長ステージ毎の支援を展開した。
- ⑥ 豊橋市等とともに、「とよはし創業プラットホーム」に参画し、延べ132件の相談に対応するほか、創業・経営支援セミナーなどを実施した。
- ⑦ 事業承継セミナーを2回開催したほか、承継予定の事業所の準備状況や課題を把握するため、25件の事業承継診断を実施した。

(2) 人材育成・雇用確保等の人材サポート事業の推進

- ① 人材の確保や就業機会の創出を図るため、「無料職業紹介所」の就職斡旋により、延べ求人企業303社（延べ求人数1,062名）、延べ求職者190名が登録・利用し、25件の求人者を紹介した結果、6名が就職に至った。
- ② 各種講習・講演会・能力開発セミナーを16回開催し、延べ189企業・318名が参加した。また、時間や場所の制約を受けず幅広い内容のセミナーが受講できる「WEBセミナー」を配信し、6,688回の視聴利用があった。
- ③ 東三河広域経済連合会の人材育成事業の一環として、高度な知識や技能を持った優秀な企業人材の育成を図るため「東三河産業アカデミー」のシリーズ名称にて専門性の高い講習会・セミナーを16回開催した。
- ④ 若者の職業観の醸成などを目的に、市内中学生を対象とした「ビジネスパーク」を11月に4日間、市内17校で76講座を開催した。
- ⑤ 学生就職情報センターにより、東三河合同企業説明会や業界研究・インターンシップフェア等を、オンライン型を含め10回実施し、375社、学生734名が参加した。また、専用HP「東三河学生就職NAVI」や就活ガイド冊子「東三河就活読本」により企業情報の公開を行った。
- ⑥ キャリア教育と企業の認知度向上のため、地元大学生と企業が学食で交流する「モグジョブ」に加え、「オンラインモグジョブ」を新たに実施し、48社の会員事業所が106名の市内3大学の学生と交流した。
- ⑦ 社会人のキャリアアップやリカレント教育、高齢者・女性等のスキル向上に資するため、「豊橋商工会議所パソコン教室」を運営し、入学者355名が、延べ13,060回受講した。
- ⑧ 日本商工会議所との共催により「簿記、販売士、珠算、日商PC」を、東京商工会議所との共催により「福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、ビジネス実務法務、eco検定」の各種検定試験を実施した。



若手・中堅社員研修
(R2/8/5)



地域の絆情報交換・商談会
(R3/2/17~18)

(3) ビジネスマッチング支援事業の実施

- ① 東三河及び周辺地域の商工会議所・商工会、金融機関等と連携し、販路拡大などのビジネスマッチング支援事業として「地域の絆情報交換・商談会2020」（主催：東三河広域経済連合会）を開催し、登録企業131社のうち90社が参加して、オンラインも活用し98件の商談を行った。
- ② メディアを活用した企業の販促活動を支援する「プレスリリースサポート」を17社が利用し、うち13社がメディアに掲載された。

(4) 小規模企業等経営改善普及事業の推進

- ① 経営指導員11名、補助員3名により、2,114件（巡回413件、窓口1,701件）の小規模事業所への各種相談指導を行った。

(5) 各種融資制度の普及および利用促進

- ① 小規模事業者経営改善資金（通称：マル経）については、感染症の影響を受けた事業所向けの別枠融資を含め44件、総額3億1,370万円を融資推薦した。また豊橋市の利子補給補助金により、利用者の負担軽減に努めた。

(6) 各種法制度改正に伴う相談支援

- ① 消費税額を含めた総額表示の義務付けやインボイス制度導入など、各種法制度の改正に係る相談窓口を設置するとともに、巡回訪問・窓口相談による制度普及を述べ513事業所に対して実施した。

(7) 経営安定に向けた支援

- ① 地震等災害時における対応策として、BCPセミナーのほか、東海リスクマネジメント研究会主催、当所共催により第16回防災フェアを開催した。
- ② 「健康経営」の普及啓発を図るため、損害保険会社や協会けんぽ等と共催で3回のセミナーを開催したほか、豊橋市や協会けんぽと協定を結び「とよはし健康宣言事業所」の普及促進や認定・表彰を行った。

5. 地域産業振興事業

(1) 中心市街地の活性化と商業振興

- ① ㈱豊橋まちなか活性化センターと連携し、市電おかえりキップサービス事業、共通駐車券事業、まちなかインキュベーション事業を実施した。
- ② 第33回都市デザイン文化賞を「とよはし矯正歯科」、「文化サロン汽水域」に贈った。
- ③ 豊橋発展会連盟と連携し「とよはしキラキラ☆イルミネーション」をはじめとする各種イベント、「商業団体街路灯等電灯料補助事業」の受付代行など商店街活動への支援を実施した。
- ④ 豊橋市、㈱豊橋まちなか活性化センター、関係商店街等とともに「広小路歩行者天国実行委員会」を組織し、11月に「豊橋まちなか歩行者天国」を開催した。

(2) ものづくりの振興と新産業創出支援

- ① 東三河の商工会議所・商工会と㈱サイエンス・クリエイト、豊橋技術科学大学や愛知工科大学などとの連携組織「東三河産業創出協議会」において、各機関の連携により、セミナーや企業見学会など各種事業を実施した。
- ② 地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、豊橋技術科学大学と産学連携や人材育成、国際化などに関する包括連携協定を締結した。

(3) 観光コンベンション事業

- ① 東三河の観光コンベンション機能充実に向け、豊橋観光コンベンション協会などとともに、宣伝事業やコンベンション誘致支援などを行った。
- ② 吉田城址広場において「～霜月炎の舞～」を11月に2日間開催し計229人が観覧した。

- ③ 豊橋まつり振興会が主催する、「ニューノーマルスタイルええじゃないか豊橋まつり」に参画し、「密じゃないよ！オンライン総踊り」に青年部・女性会・事務局が事前録画により参加したほか、青年部などが取り組む「エールめし♪」事業の参加店舗によるレシートラリーを実施した。



技科大との包括提携調印式
(R2/8/5)



オンライン総おどり撮影会
(R2/10/8)

6. 地域基盤整備事業

(1) 三河港の整備と利用促進

- ① 三河港振興会など港湾関連団体と連携し、国、県等に対し、臨港道路東三河臨海線の整備促進を求めるほか、港湾物流機能及び防災・減災機能の強化、港湾における情報化の推進を重点に、積極的な要望活動を行った。
- ② コンテナターミナルの利用促進や定期航路の維持・拡充を図るため、試行的にコンテナ貨物の輸出入を行う荷主に対し、物流経費の一部を助成する「三河港コンテナ物流トライアル助成事業」を新設したほか、3月にアイチ・スカイ・エキスポで開催された「国際物流総合展」へ初出展し、官民一体となった利用促進活動を実施した。

(2) 広域交通ネットワークの整備促進

- ① 東三河や三遠南信の行政、商工会議所・商工会などと連携し、三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路、東三河縦貫道、名浜道路、三河港へのアクセス道路などの整備促進について要望活動を展開した。
- ② 「浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会」により、整備機運を盛り上げるため、リーフレット発行やHPにより情報発信を行った。

(3) 水資源の確保

- ① 設楽ダム建設に向けた国への働きかけ、及び水源地域の振興等について、東三河の経済界が一体となって愛知県へ要望した。

(4) 環境問題への対応

- ① 第9回環境経営賞の最優秀賞を、㈱レオック、㈱REESOPの2社からなる「オノコムグループ」に贈った。

(5) 広域経済圏における連携

- ① 東三河広域経済連合会は、総会や役員会などに加え、感染症の拡大を受けた緊急会議を開催し、コロナ禍からの経済再生プランや各種広域的諸課題について協議検討を行ったほか、「健康な地域社会創造」、「産業と地域を支える人材育成」など重点プロジェクトの推進を図った。
- ② 県境地域の共通課題の解決に向けて、企業・行政・経済団体などにより「豊橋湖西県境地域企業懇話会」を設立し、通勤渋滞の実態把握を目的にした企業アンケートを実施したほか、県境地域の道路整備事業の推進について愛知県への要望活動を行った。
- ③ SENA主催による「第28回三遠南信サミット2021 in 遠州」がオンラインで開催され、「ウィズコロナ時代における県境地域の再価値化～逆境からの挑戦～」をテーマに、SENA正副会長による、コロナ禍における広域連携のあり方などについてのパネルディスカッションを動画配信した。



手筒花火でエール！撮影
(R2/11/3)



三遠南信サミット動画配信
(R3/2/15)

7. 部会・委員会等

- ① 議員総会、常議員会、議員昼食会などを定例的に開催し、情報の伝達と意見の集約及び交換等を活発に行った。
- ② 卸商業、小売商業、工業、鉄工業、繊維業、食品業、建設業、自動車関連業、理財、エネルギー、アグリサービス業、観光サービス業、港湾、不動産業、電子産業、サービス業、医療関連サービス業の17部会が、個別あるいは共同により講演会等、活発な部会活動を推進した。
- ③ 第23期の委員会として、ものづくり委員会、ええじゃないか推進委員会、ビジネスパーク委員会、会員サービス委員会、IT導入支援委員会を設置し、それぞれのテーマについて事業推進や検討研究を行った。
- ④ 青年部は、ひとづくり、まちづくり、ことづくり、ええじゃないか、総務広報の5委員会による事業を実施したほか、無観客で開催した「47都道府県に届け！豊橋から手筒花火でエール！」での手筒花火放揚を8K動画に収め、動画投稿サイトで配信を行った。また、NHK朝の連続テレビ小説「エール」の放送に合わせて設立した2020特別推進室では「エールめし♪」事業を豊橋観光コンベンション協会や豊橋市役所と連携して展開した。
- ⑤ 女性会は、「あなたが主役」をテーマに、文化・研修・交流の3委員会を軸に、講演会・研修会等の例会を企画・開催した。また、第52回全国商工会議所女性会連合会倉敷全国大会、三河商工会議所女性会サミットなどにオンラインで参加し、積極的に交流を深めた。

8. 感染症により中止した主な事業

(1) 会員サービス事業

- 共済契約者向け優待企画、共済フォーラム
- 会員懇談会、婚活パーティー「とよはし婚活はええじゃないか」

(2) 中小企業支援事業

- 定例専門相談（2回）
- 新入・若手社員実務基礎講座、製造部門実務基礎講座など
- 日商検定・東商検定（6～7月開催分）
- 春のビジネスパーク2020

(3) 地域産業振興事業

- ものづくり博2020 in 東三河
- 高等学校エコカーレース総合大会、ものづくり教室
- 第25回炎の祭典、弥生炎の舞
- ええじゃないか豊橋まつり関連事業（前夜祭、舞踊三昧、舞乱行列など）

(4) 地域基盤整備事業

- 豊橋みなとフェスティバル〔※三河港モーターショー含む〕
- 東三河経済フォーラム2021